

肌を切らずに毛細血管を可視化することに成功

シミの奥に潜む 異常な毛細血管ネットワークを発見

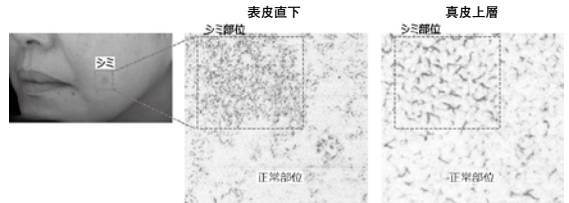
資生堂は、光血管構造を可視化することを用いた最新の技術で、近赤外光を使って肌の内部構造を可視化できる光干渉断層撮影技術(OCT:Optical Coherence Tomography)を応用し、肌内部の血管構造を深さ別に高解像度で画像化できる技術の開発を進めてきた。

今回、独自に開発したアルゴリズムを使い、この光の揺らぎのある箇所を特異的に抽出することにより、肌の中の毛細血管構造を可視化することに成功した。

シミ(日光性色素斑)をターゲットに同技術を用いて評価した結果、シミのある部位はシミのない部位と比較し、毛細血管のネットワークが異常に発達していることが見出された。

資生堂では、シミ部位に特異的に起きている肌エラーに着目した皮膚解析を行い、シミ形成のさまざまな原因解明に取り組む中、このほど、新たにシミと血管の関係に着目し、韓国Ajou(アジュ)大学皮膚科Kang(カン)教授との共同研究により「血管内皮細胞部位の皮膚では、種々

シミ内部の毛細血管ネットワーク



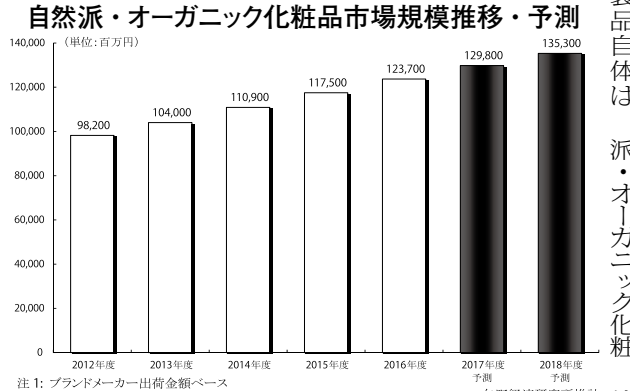
資生堂 シミ形成関与を発見

資生堂では、シミ部位に特異的に起きている肌エラーに着目した皮膚解析を行い、シミ形成のさまざまな原因解明に取り組む中、このほど、新たにシミと血管の関係に着目し、韓国Ajou(アジュ)大学皮膚科Kang(カン)教授との共同研究により「血管内皮細胞部位の皮膚では、種々

今回発見したシミ部位の異常な毛細血管ネットワークがシミに大きな影響を及ぼしていると考えられることから、同社では研究成果をもとにスキンケアの価値創出に向けた新たな研究を進めていく。

矢野経済研究所 2016年度 オーガニック化粧品市場 5.3%増の1237億円と予測

矢野経済研究所は、2017年6月～8月にかけて、自然派・オーガニック化粧品メーカー、小売店、関連団体等を対象に、国内の自然派・オーガニック化粧品の市場規模の調査を実施した。



ブランドの独自性や優位性を打ち出すことをより重視する動きが強まっている。そのため、今後は、製品自体は技術革新を前提にレベルアップが進む一方、ブランドスローリーや明確なコンセプトを軸に、食品領域や生活雑貨領域なども含め、ライフスタイルそのものをトータルに提案して

学術大会で全7講演を実施

ヒアルロン酸機能性研究会(事務局:東京、矢野一良会長)は9月14日、都内で第3回の学術大会を開催し、前回は上回る142名が全7講演を聴き、共通した美容健康素材を信する同志が知見を高めるとともに結束を深め合った。

根幹の主旨は同じでも趣旨を違えて多彩に揃った全講演のうち、立ち位置が化粧品に最も近かった講師は、キュービー研究開発本部技術研究所プリンス・サイエンスの木村守氏で、「経口摂取ヒアルロン酸の消

ヒアルロン酸が実用の前線に担っている役割について「医薬品や化粧品に幅広く活用されている。点眼剤や膝関節痛の予防のほか、化粧品では肌の保湿がある」と説明した。

ヒアルロン酸機能性研究会

JTS ガラクトシルグリセロール含有素材の提案を強化

ヒト表皮細胞を使用している各末端製品の有用性を定義した。

「医薬品や化粧品に幅広く活用されている。点眼剤や膝関節痛の予防のほか、化粧品では肌の保湿がある」と説明した。

ヒト表皮細胞を使用している各末端製品の有用性を定義した。

「医薬品や化粧品に幅広く活用されている。点眼剤や膝関節痛の予防のほか、化粧品では肌の保湿がある」と説明した。

ヒト表皮細胞を使用している各末端製品の有用性を定義した。